

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	平成28年8月10日
【四半期会計期間】	第52期第2四半期（自平成28年4月1日至平成28年6月30日）
【会社名】	不二精機株式会社
【英訳名】	FUJI SEIKI CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 伊井 剛
【本店の所在の場所】	大阪市生野区巽東四丁目4番37号
【電話番号】	06(4306)6820(代表)
【事務連絡者氏名】	専務取締役 山本 幸司
【最寄りの連絡場所】	大阪市生野区巽東四丁目4番37号
【電話番号】	06(4306)6820(代表)
【事務連絡者氏名】	専務取締役 山本 幸司
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第51期 第2四半期連結 累計期間	第52期 第2四半期連結 累計期間	第51期
会計期間	自平成27年 1月1日 至平成27年 6月30日	自平成28年 1月1日 至平成28年 6月30日	自平成27年 1月1日 至平成27年 12月31日
売上高 (千円)	2,591,239	2,561,283	5,539,905
経常利益又は経常損失() (千円)	36,534	14,858	53,279
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期(当期)純損失() (千円)	49,455	28,530	64,320
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	141,174	176,388	138,827
純資産額 (千円)	1,393,800	834,190	1,113,808
総資産額 (千円)	6,433,918	5,329,915	5,951,128
1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期(当期)純損失金額() (円)	5.81	3.41	7.56
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	5.81	-	-
自己資本比率 (%)	21.6	15.6	18.7
営業活動によるキャッシュ・フロー (千円)	87,922	139,111	241,128
投資活動によるキャッシュ・フロー (千円)	467	197,635	111,674
財務活動によるキャッシュ・フロー (千円)	6,342	154,509	248,794
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高 (千円)	923,497	454,656	684,879

回次	第51期 第2四半期連結 会計期間	第52期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自平成27年 4月1日 至平成27年 6月30日	自平成28年 4月1日 至平成28年 6月30日
1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額() (円)	2.68	12.87

(注) 1. 当社は、四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 第52期第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失金額であり、また、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載しておりません。第51期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、1株当たり当期純損失金額であり、また、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

4. 「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)等を適用し、第1四半期連結累計期間より、「四半期純利益又は四半期(当期)純損失」を「親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期(当期)純損失」としております。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動はありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、所得や雇用の改善により緩やかな回復基調が続いておりますが、海外の経済動向や政情不安に加え、為替相場や株式市場が大きく変動するなど景気の先行きは、足踏み傾向が見られ、概ね横ばいとなりました。一方、世界経済は景気の減速や急速な円高の進行などから不透明感の強い状況が続いており、さらに中国の景気は民間企業の設備投資が減速傾向に推移し、当社グループを取り巻く先行きに関しては予断を許さない状況が続いております。

このような環境の中、当社グループは、中期スローガンとして「安心をお届けする不二精機グループ」を掲げ、品質管理体制の徹底強化によるグループ一体となった顧客満足の更なる追求を図り、精密金型のコア技術をもとに自動車及び二輪車などの成形事業分野への積極的な展開を行い、顧客への高付加価値製品の提供による安定受注の拡大に努めてまいりました。

また、「『考動』で価値を創る」をグループ全社員の行動規範とし、「お客様の利益の最大化」を目標に、新たな価値創造、また「見える化」をはじめとする日々の業務の改善活動に取り組んでおります。

このような結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同四半期比29百万円(1.2%)減の25億61百万円となりました。

損益につきましては、射出成形用精密金型及び成形システム事業において原価率が悪化したことなどにより、前年同四半期比48百万円(53.5%)減の営業利益42百万円、経常損失14百万円（前年同四半期は経常利益36百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失28百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益49百万円）となりました。

セグメント別の業績は、以下のとおりであります。

<射出成形用精密金型及び成形システム事業>

医療機器用精密金型の受注が前年同四半期より減少したことなどにより、当セグメントの売上高は、10億20百万円(前年同四半期比4.1%減)となり、さらに当該事業の利益率が悪化したことなどにより、セグメント損失39百万円(前年同四半期はセグメント利益64百万円)となりました。

<精密成形品その他事業>

自動車部品用成形品の受注が順調に推移したことなどにより、当セグメントの売上高は、16億30百万円(前年同四半期比3.8%増)となったことなどにより、前年同四半期比46百万円(173.6%)増のセグメント利益73百万円となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末と比べ2億30百万円減少し、4億54百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、獲得した資金は、1億39百万円(前年同四半期は87百万円の獲得)となりましたが、これは主として、仕入債務の減少1億1百万円、税金等調整前四半期純損失35百万円及び賞与引当金の減少23百万円等であった一方、減価償却費1億50百万円、たな卸資産の減少98百万円及び未収入金の減少39百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、支出した資金は、1億97百万円(前年同四半期は0百万円の獲得)となりましたが、これは主として、有形固定資産の取得による支出2億円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、支出した資金は、1億54百万円(前年同四半期は6百万円の支出)となりましたが、これは主として、長期借入れによる収入6億27百万円があった一方、長期借入金の返済による支出3億81百万円、社債の償還による支出2億48百万円、自己株式の取得による支出1億3百万円及びリース債務の返済による支出45百万円によるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、事業上及び財務上の対処すべき課題について重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間の研究開発費の総額は0百万円であります。なお、研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	23,720,000
計	23,720,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成28年6月30日)	提出日現在発行数(株) (平成28年8月10日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	9,054,000	9,054,000	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 100株
計	9,054,000	9,054,000	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数 増減数(株)	発行済株式総数 残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増減 額(千円)	資本準備金残高 (千円)
平成28年5月6日 (注)	-	9,054,000	534,180	500,000	-	85,588

(注) 会社法第447条第1項の規定に基づき、資本金の額を減少させ、その全額を「その他資本剰余金」に振り替えたものであります。

(6) 【大株主の状況】

平成28年6月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数 に対する所有株式 数の割合(%)
一般社団法人千尋会	大阪市天王寺区上本町8丁目4番15号	756	8.36
中野 孝一	奈良県生駒郡	601	6.64
伊井 剛	大阪市天王寺区	445	4.92
ブラザー工業株式会社	名古屋市瑞穂区苗代町15-1	424	4.68
伊井 良江	大阪市生野区	346	3.82
株式会社三菱東京UFJ銀行	東京都千代田区丸の内2丁目7番1号	240	2.65
株式会社SBI証券	東京都港区六本木1丁目6番1号	235	2.60
伊井 壽壽子	大阪市天王寺区	220	2.43
不二精機従業員持株会	愛媛県東温市田窪41-14	171	1.90
青森 佳信	広島県呉市	117	1.30
計	-	3,557	39.30

(注) 当社の保有する自己株式1,474,279株(持株比率16.28%)は、上記の表には含めておりません。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成28年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 1,474,200	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 7,578,200	75,782	-
単元未満株式	普通株式 1,600	-	-
発行済株式総数	9,054,000	-	-
総株主の議決権	-	75,782	-

【自己株式等】

平成28年6月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合 (%)
不二精機株式会社	大阪市生野区巽東 四丁目4番37号	1,474,200	-	1,474,200	16.28
計	-	1,474,200	-	1,474,200	16.28

(注) 当社は、平成28年6月2日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式を取得することを決議し、当該決議に基づき以下のとおり自己株式の取得を実施いたしました。

取得した株式の種類	当社普通株式
取得した株式の総数	930,000株
取得価額の総額	103,230,000円
取得年月日	平成28年6月3日

上述の株式取得の結果、平成28年6月30日現在の自己株式の数は1,474,279株となっております。

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成28年4月1日から平成28年6月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成28年1月1日から平成28年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、仰星監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	684,879	454,656
受取手形及び売掛金	1,139,899	1,010,490
電子記録債権	88,145	98,928
製品	286,515	163,540
仕掛品	292,615	303,620
原材料及び貯蔵品	108,848	86,089
未収入金	242,360	202,934
繰延税金資産	7,011	12,321
その他	121,898	105,380
貸倒引当金	4,900	4,700
流動資産合計	2,967,276	2,433,262
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	650,131	598,882
機械装置及び運搬具(純額)	686,231	617,276
土地	447,035	447,035
リース資産(純額)	456,712	448,139
建設仮勘定	70,873	96,673
その他(純額)	292,233	334,829
有形固定資産合計	2,603,217	2,542,836
無形固定資産	66,299	64,022
投資その他の資産		
投資有価証券	37,814	32,440
繰延税金資産	22,377	23,093
その他	168,994	161,569
投資その他の資産合計	229,186	217,104
固定資産合計	2,898,703	2,823,963
繰延資産		
社債発行費	12,459	10,334
開業費	72,110	62,290
株式交付費	577	65
繰延資産合計	85,147	72,690
資産合計	5,951,128	5,329,915

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	771,848	577,612
短期借入金	1,688,875	1,679,938
1年内償還予定の社債	289,840	82,000
リース債務	81,543	89,015
未払金	188,669	169,684
未払法人税等	12,152	6,282
賞与引当金	75,515	49,347
製品保証引当金	10,761	10,154
その他	227,712	180,315
流動負債合計	3,346,918	2,844,349
固定負債		
社債	266,000	225,000
長期借入金	778,488	1,008,144
リース債務	376,876	348,643
繰延税金負債	27,398	25,186
役員退職慰労引当金	14,539	14,539
退職給付に係る負債	8,234	11,571
資産除去債務	18,864	18,291
固定負債合計	1,490,400	1,651,376
負債合計	4,837,319	4,495,725
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,034,180	500,000
資本剰余金	224,869	759,049
利益剰余金	243,574	272,105
自己株式	261,849	365,079
株主資本合計	753,625	621,864
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,663	3,723
為替換算調整勘定	350,491	207,533
その他の包括利益累計額合計	359,154	211,256
新株予約権	795	795
非支配株主持分	233	272
純資産合計	1,113,808	834,190
負債純資産合計	5,951,128	5,329,915

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)
売上高	2,591,239	2,561,283
売上原価	2,009,795	2,046,685
売上総利益	581,443	514,597
販売費及び一般管理費	1,489,842	1,471,955
営業利益	91,600	42,641
営業外収益		
受取利息	794	862
受取配当金	155	245
為替差益	17,180	-
仕入割引	481	405
受取保険料	8,572	-
補助金収入	-	5,294
その他	2,980	2,877
営業外収益合計	30,164	9,685
営業外費用		
支払利息	48,904	43,023
為替差損	-	95
社債発行費償却	2,414	2,124
開業費償却	13,777	12,604
その他	20,133	9,338
営業外費用合計	85,230	67,186
経常利益又は経常損失()	36,534	14,858
特別利益		
固定資産売却益	2,126	1,005
特別利益合計	2,126	1,005
特別損失		
固定資産売却損	577	386
固定資産除却損	6,050	9,602
事務所移転費用	-	11,646
特別損失合計	6,627	21,634
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失()	32,033	35,488
法人税、住民税及び事業税	11,219	2,108
過年度法人税等戻入額	12,098	-
法人税等調整額	15,739	8,928
法人税等合計	16,618	6,819
四半期純利益又は四半期純損失()	48,652	28,668
非支配株主に帰属する四半期純損失()	803	137
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主 に帰属する四半期純損失()	49,455	28,530

【四半期連結包括利益計算書】
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失()	48,652	28,668
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,411	4,940
為替換算調整勘定	91,110	142,779
その他の包括利益合計	92,522	147,719
四半期包括利益	141,174	176,388
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	142,530	176,428
非支配株主に係る四半期包括利益	1,356	39

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失()	32,033	35,488
減価償却費	135,569	150,101
のれん償却額	1,569	-
貸倒引当金の増減額(は減少)	1,800	200
賞与引当金の増減額(は減少)	4,916	23,217
受取利息及び受取配当金	949	1,108
支払利息	48,904	43,023
為替差損益(は益)	21,800	6,334
固定資産除却損	6,050	9,602
有形及び無形固定資産売却損益(は益)	1,549	618
移転費用	-	11,646
退職給付に係る負債の増減額(は減少)	1,644	3,449
売上債権の増減額(は増加)	149,508	11,939
未収入金の増減額(は増加)	5,301	39,730
たな卸資産の増減額(は増加)	98,998	98,371
仕入債務の増減額(は減少)	87,233	101,439
未払消費税等の増減額(は減少)	35,666	6,243
製品保証引当金の増減額(は減少)	325	607
社債発行費償却	2,414	2,124
株式交付費償却	699	512
開業費償却額	13,777	12,604
その他	48,723	14,507
小計	183,005	193,339
利息及び配当金の受取額	949	1,108
利息の支払額	49,593	44,425
法人税等の支払額又は還付額(は支払)	13,675	8,402
移転費用の支払額	-	2,508
関係会社の整理による支出	32,763	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	87,922	139,111
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	2,266	-
有形固定資産の取得による支出	223,706	200,318
有形固定資産の売却による収入	4,428	1,087
無形固定資産の取得による支出	1,772	96
投資有価証券の取得による支出	600	601
短期貸付けによる支出	15,000	-
関係会社出資金の売却による収入	239,867	-
その他	5,015	2,293
投資活動によるキャッシュ・フロー	467	197,635
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	15,000	25,800
長期借入れによる収入	250,000	627,600
長期借入金の返済による支出	321,628	381,426
社債の発行による収入	96,640	-
社債の償還による支出	61,240	248,840
セール・アンド・リースバックによる収入	72,454	22,215
リース債務の返済による支出	28,365	45,028
自己株式の取得による支出	-	103,230
新株予約権の発行による収入	795	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	6,342	154,509
現金及び現金同等物に係る換算差額	13,774	17,190
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	95,821	230,223
現金及び現金同等物の期首残高	827,675	684,879

現金及び現金同等物の四半期末残高	1,923,497	1,454,656
------------------	-----------	-----------

【注記事項】

(会計方針の変更)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

(四半期連結損益計算書関係)

1. 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)
給料	164,601千円	148,450千円
賞与引当金繰入額	6,462	2,655
貸倒引当金繰入額	-	70

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

1. 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)
現金及び預金勘定	923,500千円	454,656千円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	3	-
現金及び現金同等物	923,497	454,656

(株主資本等関係)

株主資本の著しい変動

当第2四半期連結累計期間(自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)

当社は、平成28年3月25日開催の第51期定時株主総会決議に基づき、平成28年5月6日付で資本金の額を減少させ、その全額をその他資本剰余金に振替えております。

資本金の減少額 534,180千円

その他資本剰余金の増加額 534,180千円

さらに当社は、平成28年6月2日開催の取締役会決議に基づき、自己株式930,000株の取得を行いました。この結果、当第2四半期累計期間において自己株式が103,230千円増加し、当第2四半期会計期間末において自己株式が365,079千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	射出成形用精密金型 及び成形システム事業	精密成形品その他事業	
売上高			
外部顧客への売上高	1,020,124	1,571,114	2,591,239
セグメント間の内部売上高 又は振替高	44,464	-	44,464
計	1,064,589	1,571,114	2,635,703
セグメント利益	64,066	26,877	90,943

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	90,943
セグメント間取引消去	656
四半期連結損益計算書の営業利益	91,600

当第2四半期連結累計期間(自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	射出成形用精密金型 及び成形システム事業	精密成形品その他事業	
売上高			
外部顧客への売上高	930,941	1,630,341	2,561,283
セグメント間の内部売上高 又は振替高	89,906	-	89,906
計	1,020,848	1,630,341	2,651,189
セグメント利益又はセグメント損失 ()	39,117	73,542	34,425

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	34,425
セグメント間取引消去	8,216
四半期連結損益計算書の営業利益	42,641

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額又は 1株当たり四半期純損失金額()	5円81銭	3円41銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額又は親会 社株主に帰属する四半期純損失金額() (千円)	49,455	28,530
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利 益金額又は親会社株主に帰属する四半期純損失金 額()(千円)	49,455	28,530
普通株式の期中平均株式数(千株)	8,509	8,376
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	5円81銭	-
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益調整額 (千円)	-	-
普通株式増加数(千株)	2	-
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当た り四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式 で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの 概要	-	-

(注) 当第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失金額であり、また、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成28年8月9日

不二精機株式会社

取締役会 御中

仰星監査法人

代表社員
業務執行社員 公認会計士 高田 篤 印

業務執行社員 公認会計士 里見 優 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている不二精機株式会社の平成28年1月1日から平成28年12月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成28年4月1日から平成28年6月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成28年1月1日から平成28年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、不二精機株式会社及び連結子会社の平成28年6月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. XBR Lデータは四半期レビューの対象には含まれておりません。